



東証1部 証券コード 3116

2020年度 (2021年3月期)

# 第2四半期 決算説明会

---

開催日：2020年10月29日

# 目次

1. 2020年度第2四半期 決算状況
2. 2020年度通期 業績予想
3. 参考情報

# 目次

**1. 2020年度第2四半期 決算状況**

2. 2020年度通期 業績予想

3. 参考情報

# スクリプト

- ◆ 笛田でございます。
- ◆ 本日は、お忙しい中、当社の2020年度第2四半期決算説明会にご出席いただきまして、ありがとうございます。
- ◆ はじめに、2020年度第2四半期の決算状況、  
続いて、通期の業績予想をご説明させていただきます。
- ◆ それでは、2020年度第2四半期の決算状況について  
ご説明いたします。

# 1-1) 2020年度第2四半期 決算状況 連結決算概要

(億円)

	19年度 第2四半期実績		20年度 第2四半期実績		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	7,147	100.0%	5,454	100.0%	△1,693	△23.7%
営業利益	265	3.7%	36	0.7%	△228	△86.4%
税引前利益	271	3.8%	31	0.6%	△239	△88.3%
当期利益*	126	1.8%	△76	△1.4%	△203	—

\*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり四半期利益	67円85銭	△41円04銭		
為替レート	USドル	109円	107円	△2円
	1-円	121円	121円	△0円

売上収益

■ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う減産により減収

営業利益

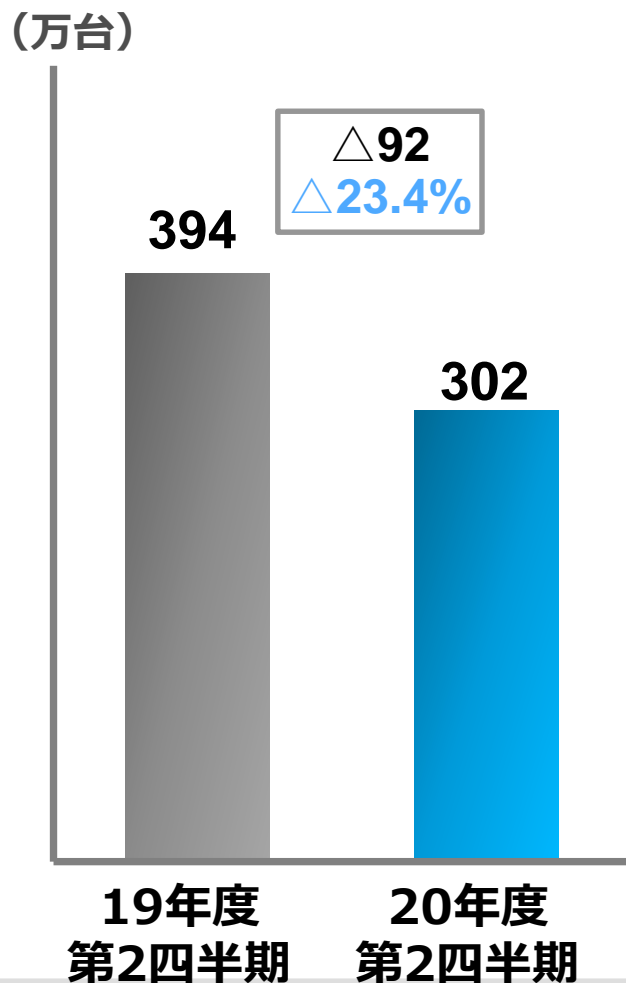
■ 需要変動への柔軟な対応による減産影響の抑制や、諸経費の効率化等の収益確保策を実施し、営業利益黒字化

# スクリプト

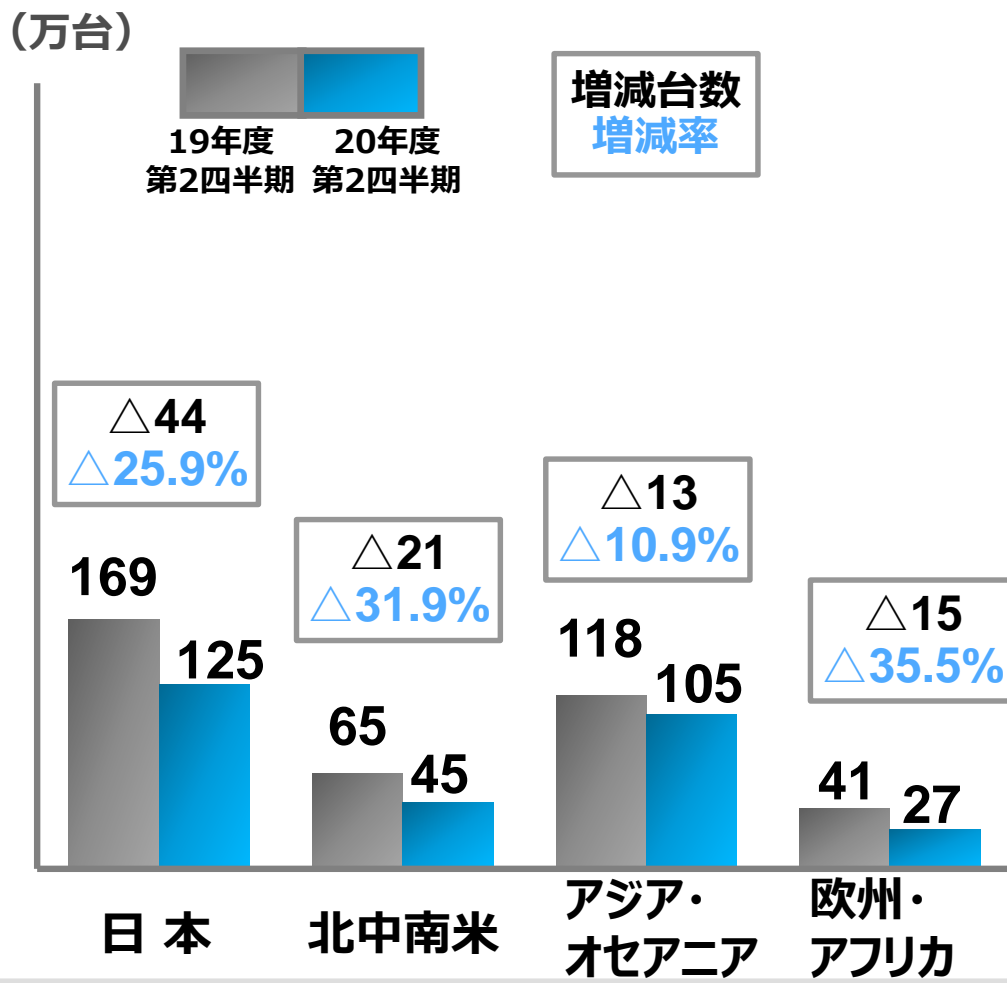
- ◆売上収益は、前期比1,693億円減少の5,454億円。
- ◆営業利益は、前期比228億円減少の36億円となりました。
- ◆税引前利益は、前期比239億円減少の31億円。
- ◆親会社の所有者に帰属する当期利益は、  
前期比 203億円減少の マイナス76億円となりました。
  
- ◆為替レートは、1ドル107円、1ユーロ121円でございます。  
なお、前年同期からの為替影響につきましては、  
売上収益でマイナス83億円、営業利益はマイナス1億円減少する  
方向に効いております。

# 1-2) 2020年度第2四半期 地域別シート生産台数

## 連結全体



## セグメント別



# スクリプト

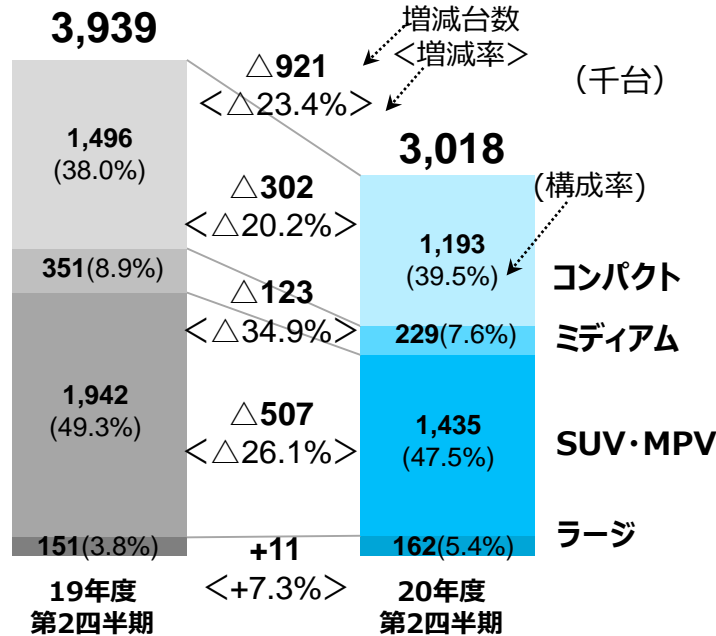
- ◆ 続きまして、私どもの主力製品であるシート生産台数ですが、連結全体では、前期比マイナス92万台の302万台となりました。
- ◆ 地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、詳細は、地域別のページにてご説明いたします。



# 1-3) 2020年度第2四半期 決算状況 連結 売上収益・営業利益

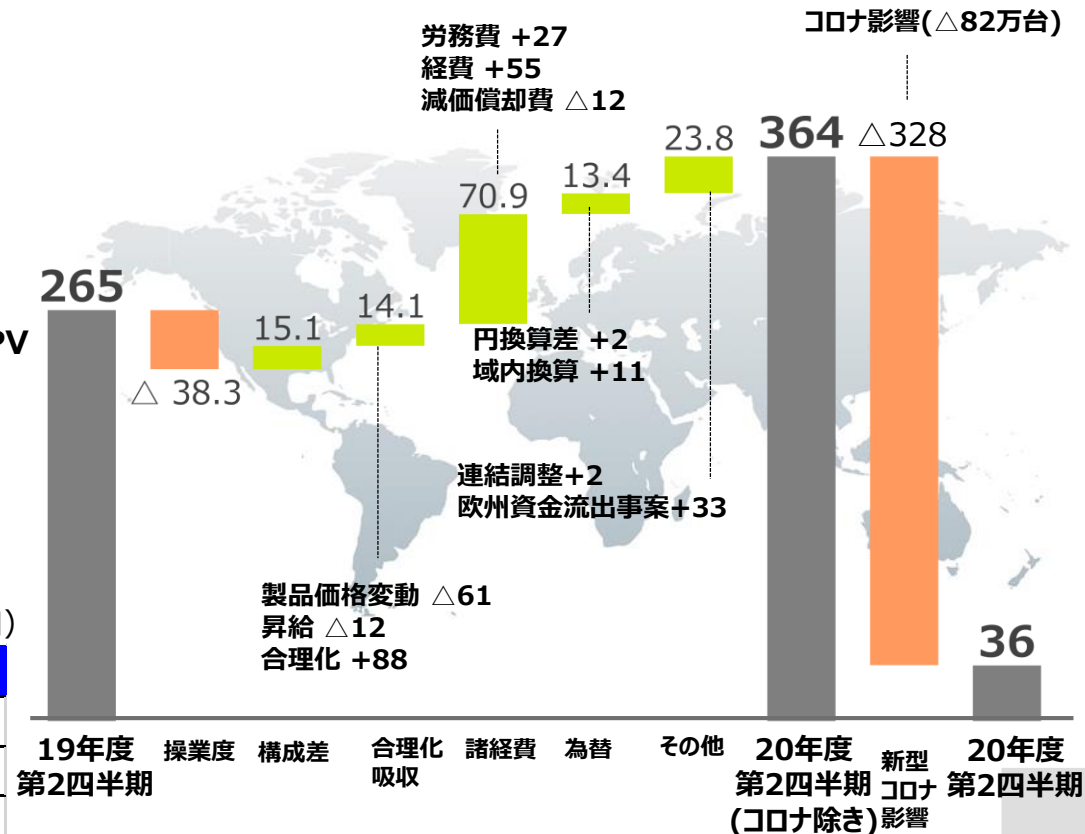
諸経費の効率化や合理化など収益確保策を実施し、コロナ影響除きで増益、影響を織り込んで黒字を確保

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)



## 当期の経営成績

(億円)

	19年度2Q	20年度2Q	増減
売上収益	7,147	5,454	△ 1,693
営業利益	265	36	△ 228
営業利益率	3.7%	0.7%	-

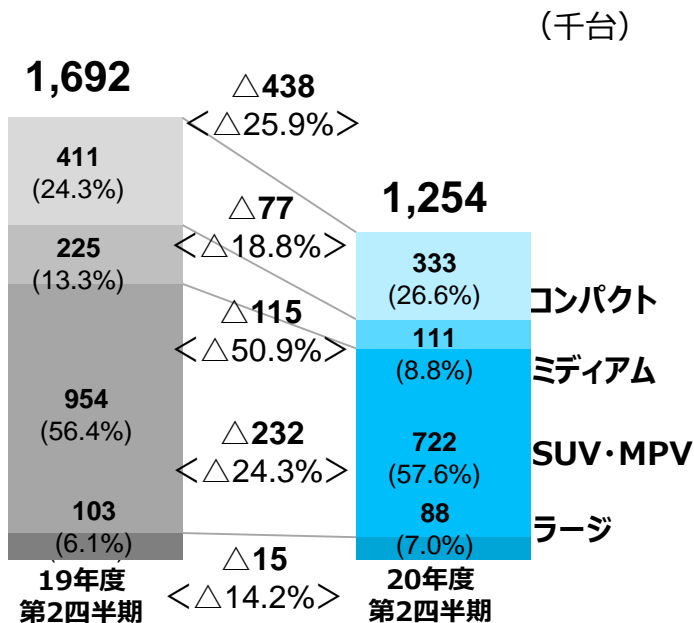
# スクリプト

- ◆次に、連結の売上収益・営業利益についてご説明いたします。
- ◆台数ですが、前期比マイナス92万台の301万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比1,693億円減少の5,454億円。
- ◆営業利益は、  
諸経費の効率化や合理化など収益確保策を実施し、  
新型コロナウイルスの影響による減益要因を除いて増益、  
当影響を織り込んでも、36億円の営業黒字を確保いたしました。
- ◆なお、新型コロナウイルスによる減益影響は  
マイナス328億円でございますが、主な内容は、  
減産影響や雇用維持による労務費負担などでございます。

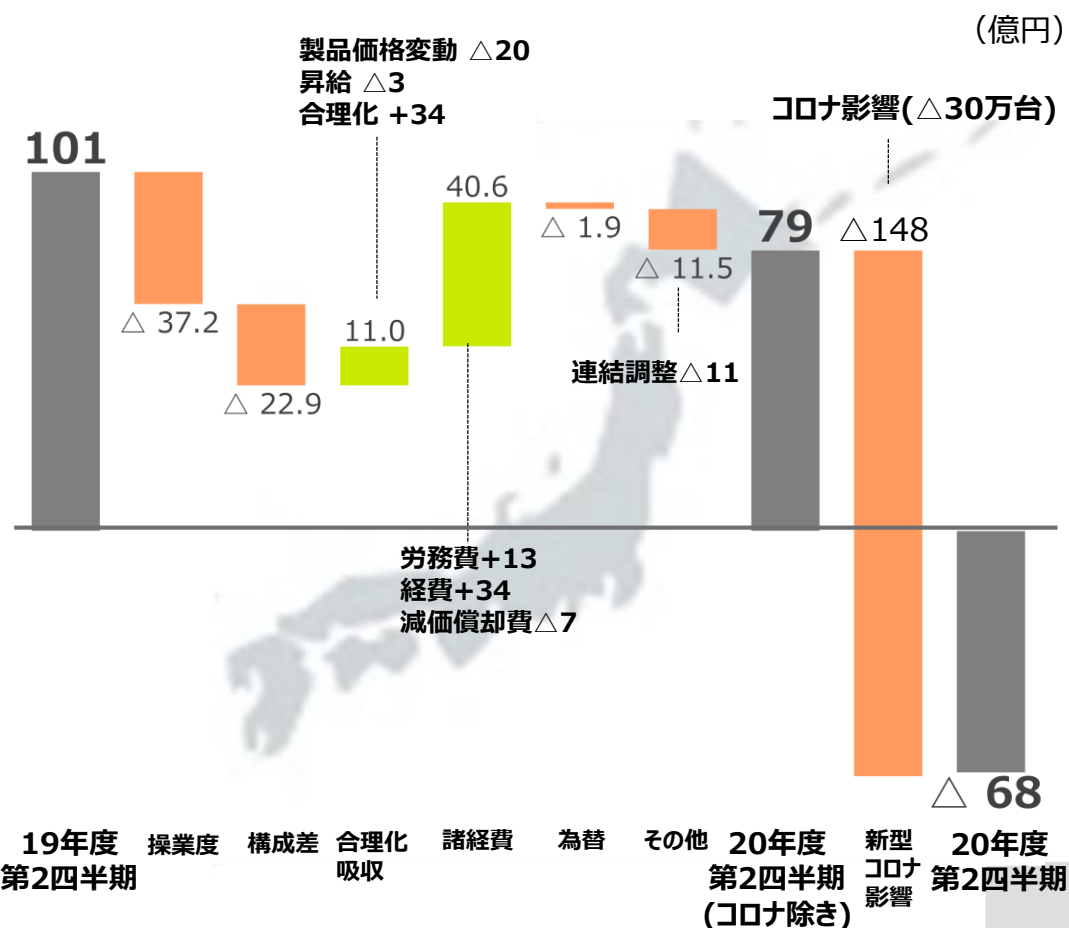
# 1-3) 2020年度第2四半期 決算状況 日本 売上収益・営業利益

働き方の見直しによる労働時間短縮・経費低減などの諸経費の効率化はあるが、新型コロナウイルスによる減産影響や雇用維持に伴う労務費負担により減益

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比)



## 当期の経営成績

(億円)

	19年度2Q	20年度2Q	増減
売上収益	3,980	3,042	△937
営業利益	101	△68	△170
営業利益率	2.6%	△2.3%	—

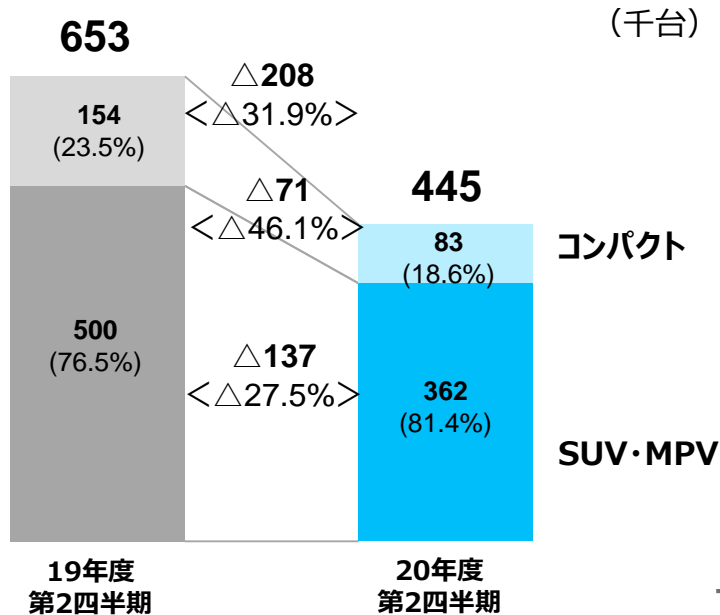
# スクリプト

- ◆次に、日本ですが、
- ◆台数は、前期比マイナス44万台の125万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比937億円減少の3,042億円。
- ◆営業利益は、  
新型コロナウイルスによる減益影響を除いても減益となっておりますが、  
ITツールの活用やテレワーク拡充など働き方を抜本的に見直すことで、  
労働時間短縮、出張旅費の低減など諸経費効率化の効果は  
着実に出ております。

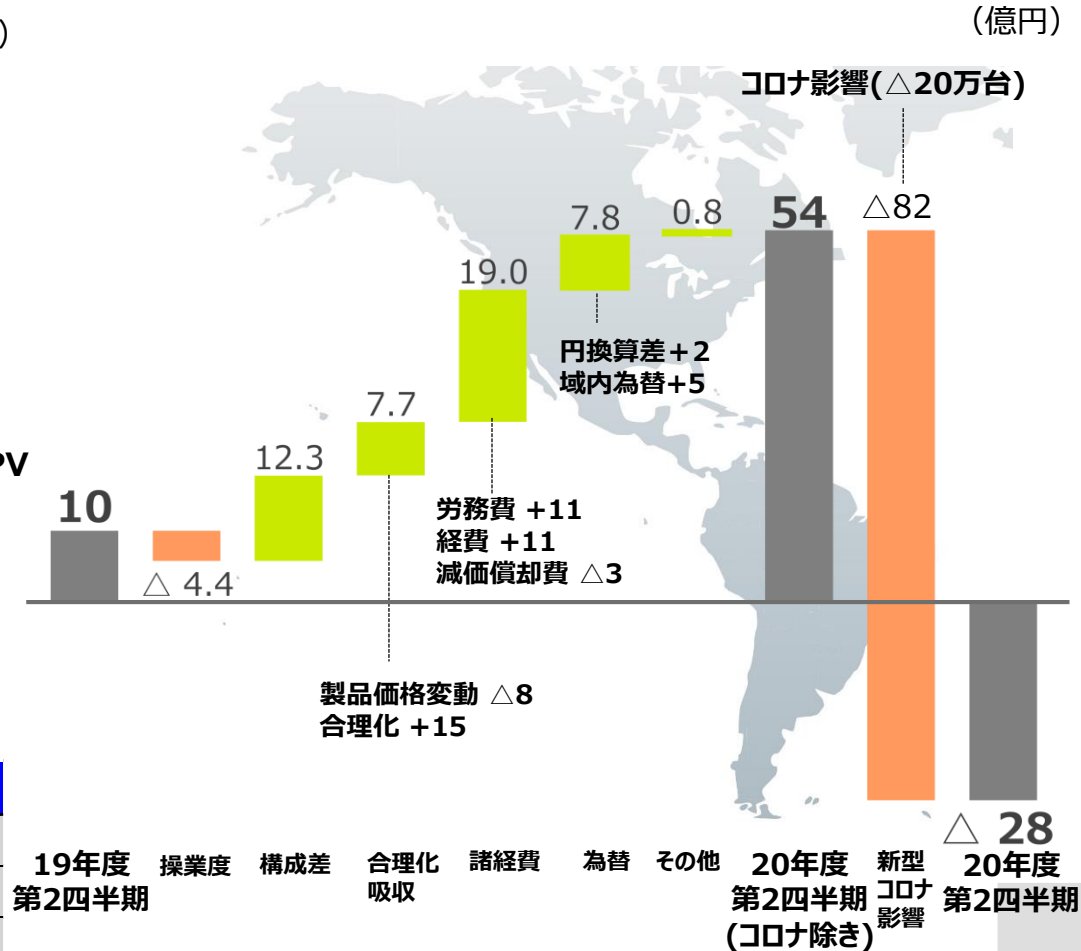
# 1-3) 2020年度第2四半期 決算状況 北中南米 売上収益・営業利益

新製品効果に加え、諸経費の効率化や合理化などにより、  
 コロナ影響除きでは増益

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比)



## 当期の経営成績

	(億円)		
	19年度2Q	20年度2Q	増減
売上収益	1,450	989	△461
営業利益	10	△28	△39
営業利益率	0.7%	△2.9%	—

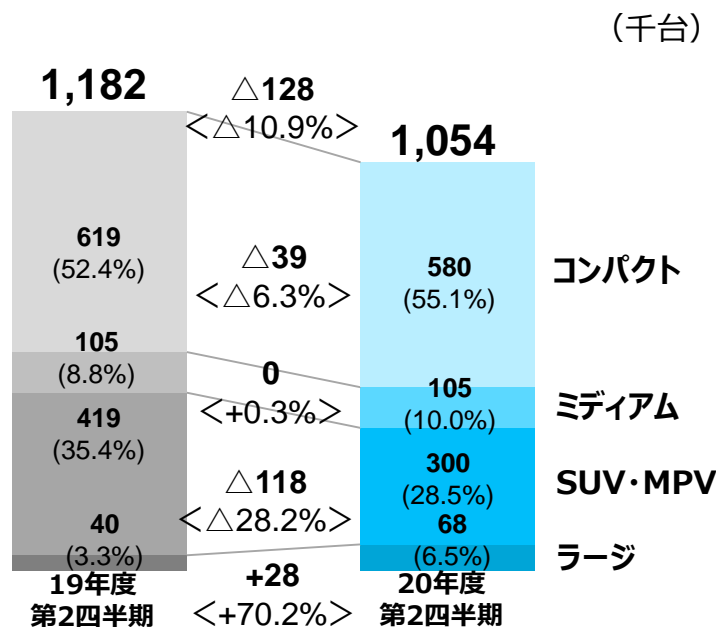
# スクリプト

- ◆次に、北中南米ですが、
- ◆台数は、主に北米・南米ともに大幅な減産となり、前期比マイナス21万台の45万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比461億円減少の989億円。
- ◆営業利益は、  
昨年モデルチェンジしたSUVの新製品効果に加え、  
諸経費の効率化や合理化などにより、  
新型コロナウイルスによる減益影響を除いては増益となりました。

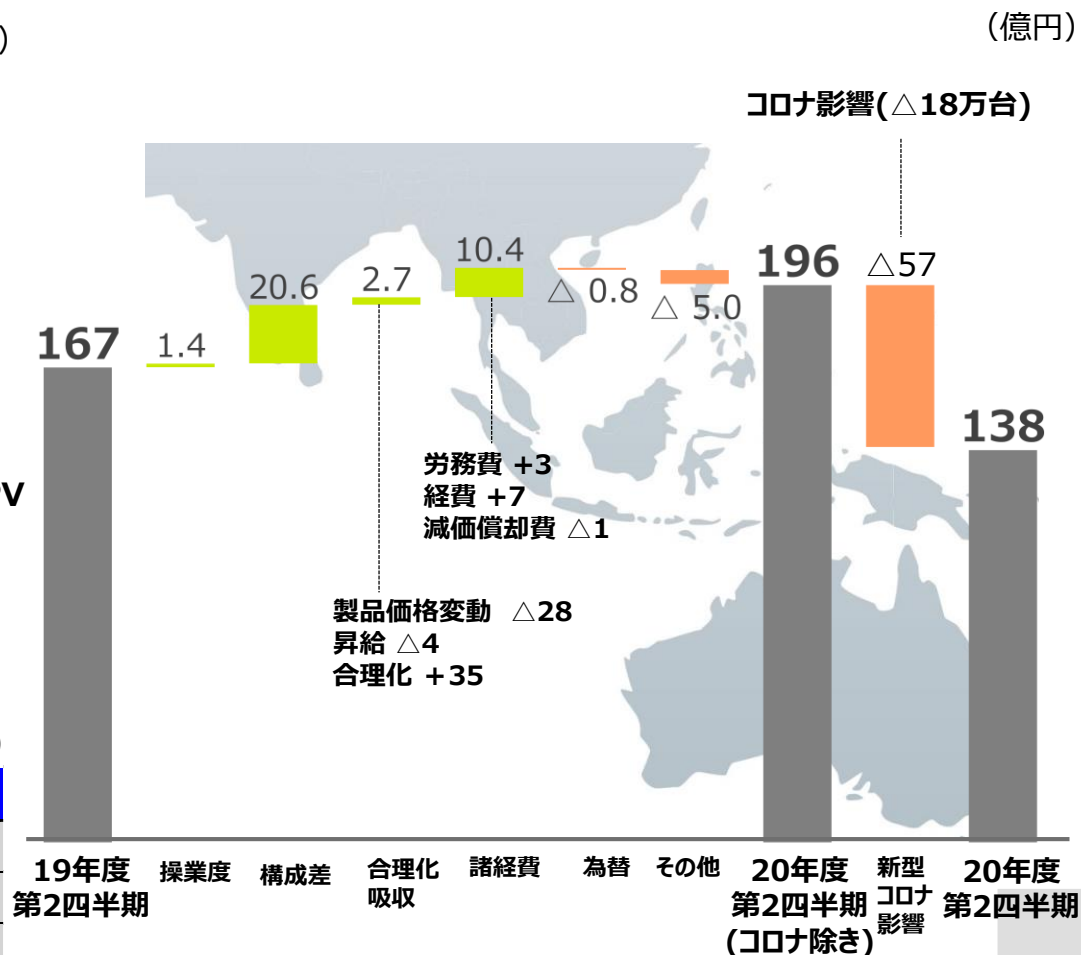
# 1-3) 2020年度第2四半期 決算状況 アジア・セアニア 売上収益・営業利益

中国での増産影響や諸経費の効率化などの増益要因はあるが、新型コロナウイルスによるアセアン各国での減産影響などにより減益

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比)



## 当期の経営成績

(億円)

	19年度2Q	20年度2Q	増減
売上収益	1,766	1,449	△317
営業利益	167	138	△28
営業利益率	9.5%	9.6%	-

# スクリプト

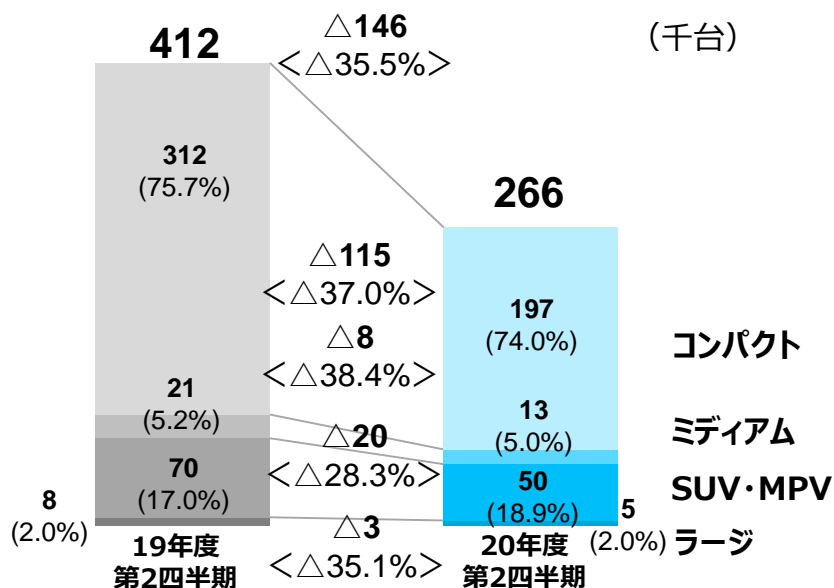
- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
- ◆台数は、中国での増産はあったものの、アセアン各国やインドでの減産により、前期比マイナス13万台の105万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比317億円減少の1,449億円。
- ◆営業利益は、中国での増産影響や、諸経費の効率化などにより、新型コロナウイルスによる減益影響を除いては増益となりました。



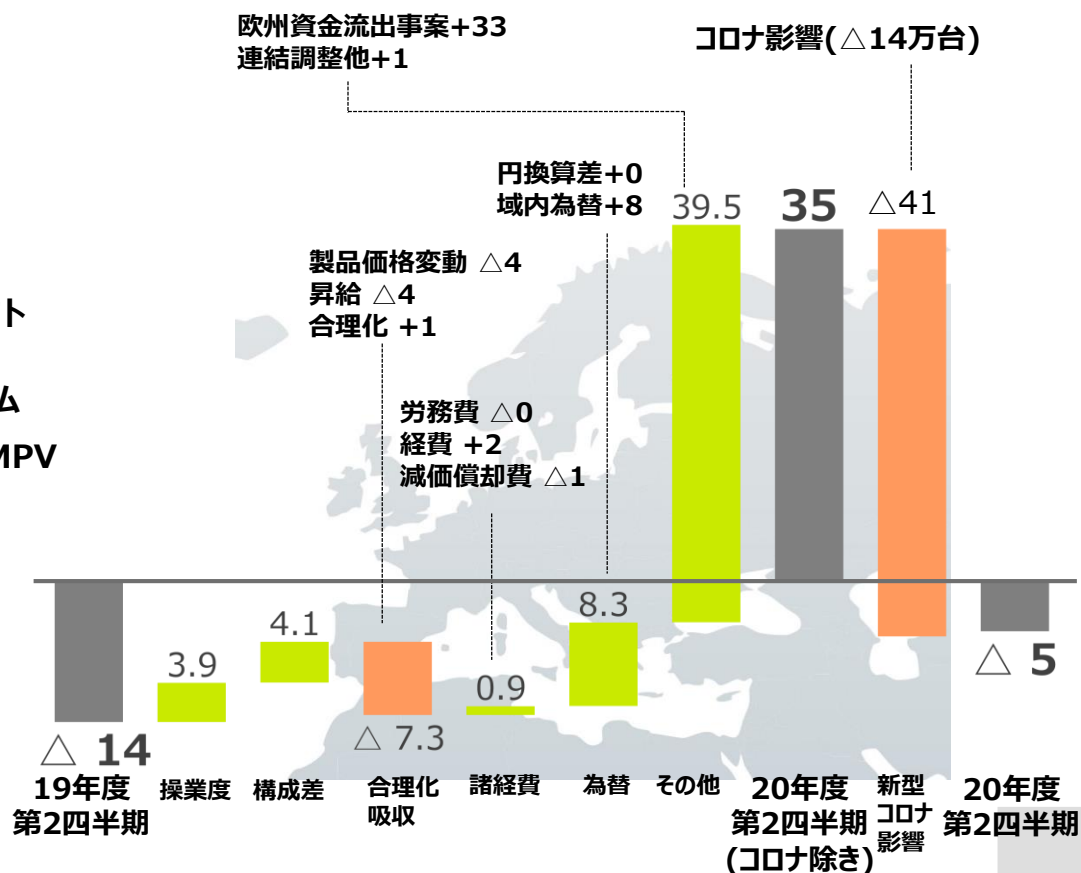
# 1-3) 2020年度第2四半期 決算状況 欧州・アフリカ 売上収益・営業利益

新型コロナウイルスによる減産影響などの減益要因があるが、為替影響や前期に資金流出事案に伴う損失があったことなどから赤字縮小

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比) (億円)



## 当期の経営成績

	19年度2Q	20年度2Q	増減
売上収益	426	319	△107
営業利益	△14	△5	9
営業利益率	△3.5%	△1.7%	—

# スクリプト

- ◆次に、欧州・アフリカですが、
- ◆台数は、  
前年比マイナス15万台の27万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比107億円減少の319億円。
- ◆営業利益は、  
為替影響や、前期に資金流出事案に伴う損失があったことなどから、  
新型コロナウイルスによる減益影響を除いては増益となりました。

# 目次

1. 2020年度第2四半期 決算状況

**2. 2020年度通期 業績予想**

3. 参考情報

◆ 続きまして、2020年度 通期業績予想についてご説明いたします。

## 2-1) 2020年度通期 業績予想 連結決算概要

(億円)

	19年度 通期実績		20年度 通期予想		増減		20年度 通期予想 (1Q公表)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	13,726	100.0%	12,400	100.0%	△1,326	△9.7%	11,400	100.0%
営業利益	477	3.5%	360	2.9%	△117	△24.7%	130	1.1%
税引前利益	480	3.5%	350	2.8%	△130	△27.2%	120	1.1%
当期利益*	247	1.9%	140	1.1%	△107	△43.5%	△50	△0.4%

\*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり 当期利益		132円88銭	74円93銭	△57円95銭	△26円76銭
為替 レート	USドル	109円	106円	△3円	106円
	1-0	121円	121円	—	120円

### 売上収益

■ 上期は新型コロナウイルス影響により減収となったが、下期は需要回復に伴い前期比で増収となる見込み

### 営業利益

■ 下期は需要回復や、全社を挙げた合理化や諸経費の効率化など収益向上策の継続により、前期比で増益となる見込み

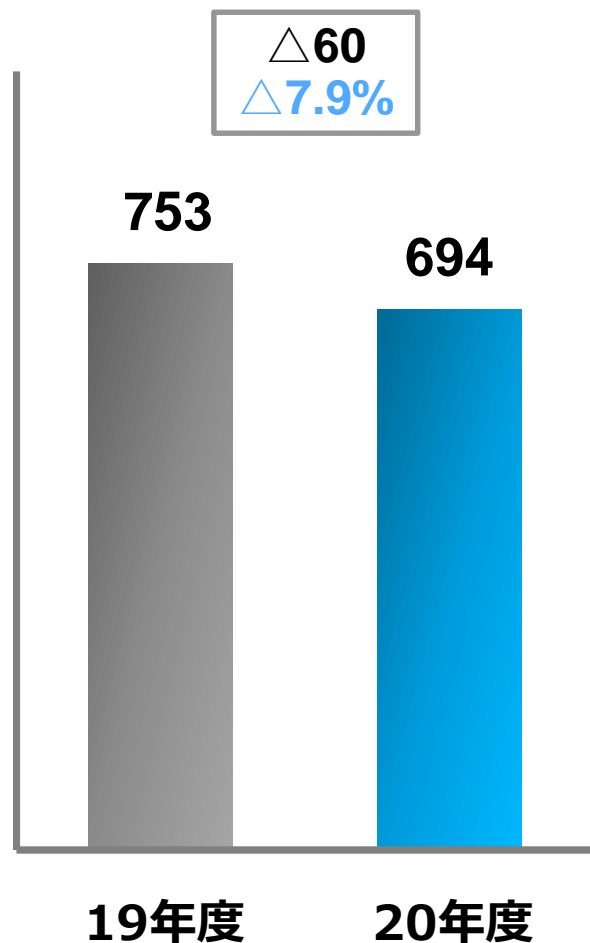
# スクリプト

- ◆売上収益は、前期比1,326億円減少の1兆2,400億円と予想しております。
- ◆営業利益は、前期比117億円減少の360億円。
- ◆税引前利益は、前期比130億円減少の350億円。
- ◆親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比107億円減少の140億円をそれぞれ予想しております。
- ◆なお、直近の業績動向と、今後の台数予想等を勘案し、前回公表より修正しておりますが、詳細は後ほどご説明いたします。
- ◆為替レートは、1ドル106円、1ユーロ121円を前提としております。

## 2-2) 2020年度通期 業績予想 地域別シート生産台数

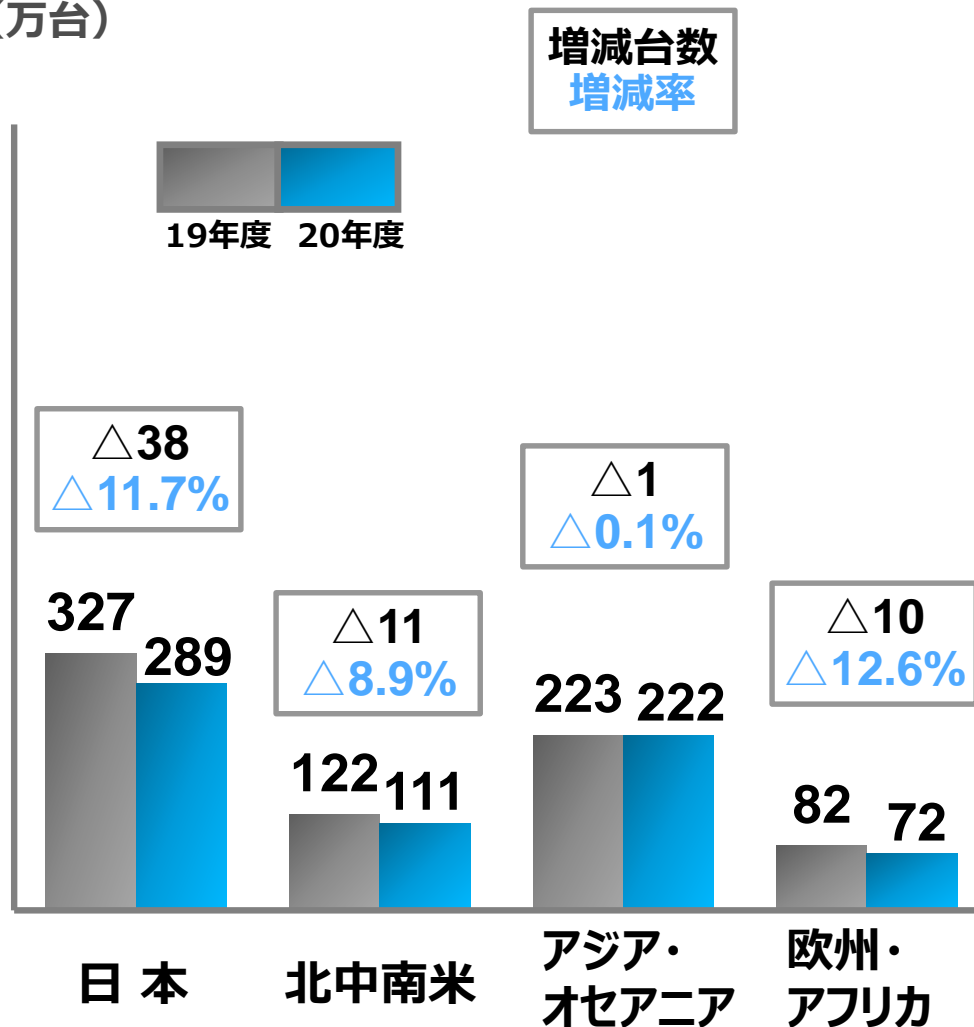
### 連結全体

(万台)



### セグメント別

(万台)



# スクリプト

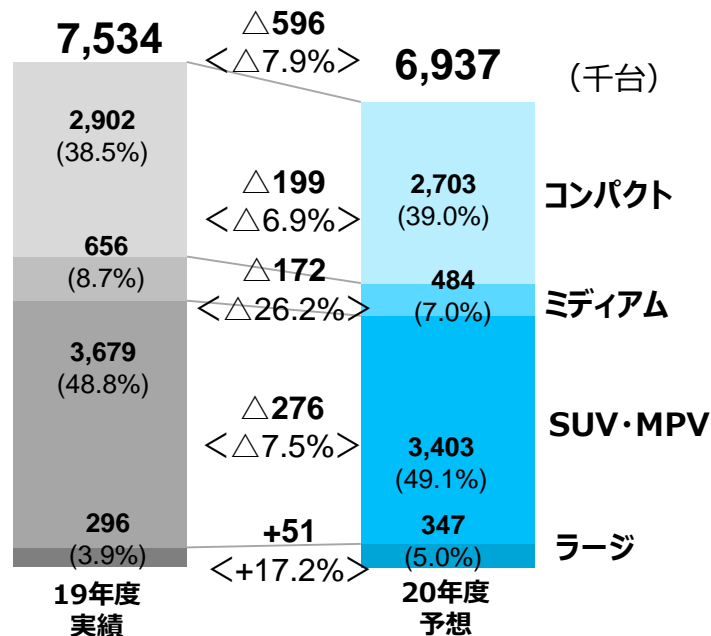
- ◆次に、シート生産台数ですが、  
連結全体では、前期比マイナス60万台の694万台と  
予想しております。
- ◆地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、  
詳細は、地域別のページにてご説明いたします。



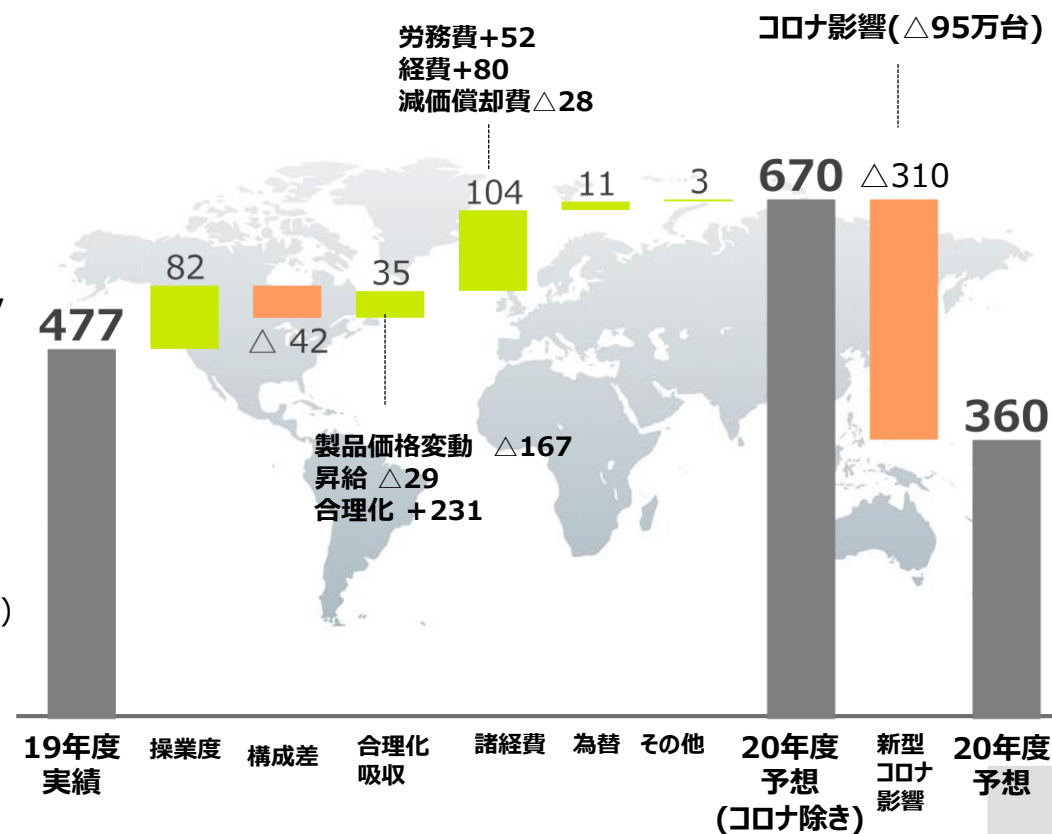
## 2-3) 2020年度通期 業績予想 連結 売上収益・営業利益

新型コロナウイルスによる減産状況下、全社を挙げた合理化や諸経費の効率化などにより減益幅を縮小

### 台数・車種構成の変化



### 営業利益の増減解析 (前期比) (億円)



### 当期の経営成績

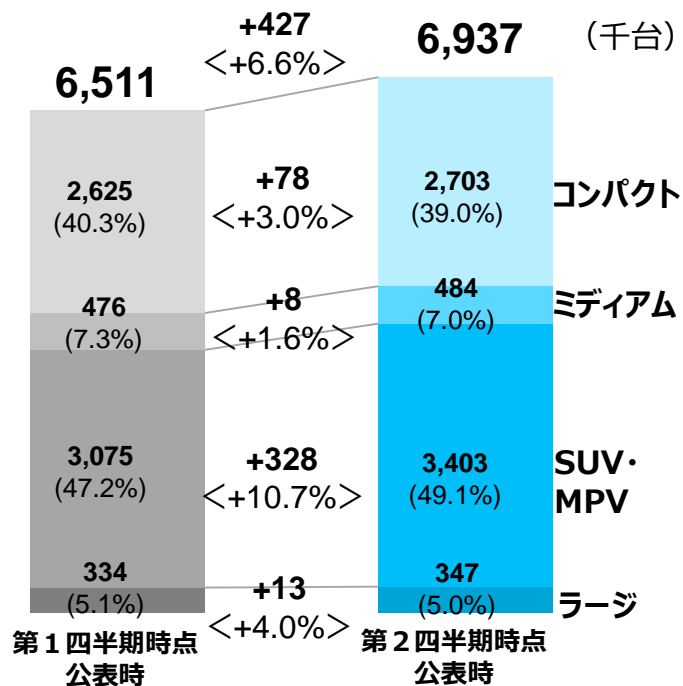
	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	13,726	12,400	△1,326
営業利益	477	360	△117
営業利益率	3.5%	2.9%	—

# スクリプト

- ◆次に、連結の売上収益・営業利益についてご説明いたします。
- ◆台数・車種構成の変化ですが、  
ラージを除く全セグメントでの減産を見込んでおり、  
前期比マイナス60万台の694万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比1,326億円減少の1兆2,400億円。
- ◆営業利益は、  
新型コロナウイルスによる減産状況下での、全社を挙げた合理化や、  
諸経費の効率化などにより、360億円となる見込みですが、  
新型コロナウイルスによる減益影響を除けば、670億円と想定しており、  
収益力は、着実に向上しているものと考えております。

# 2-3) 2020年度通期 業績予想 第1四半期 公表値との差異

## 台数・車種構成の変化



## 当期の経営成績

	1Q公表	2Q公表	増減
売上収益	11,400	12,400	1,000
営業利益	130	360	230
営業利益率	1.1%	2.9%	—

## 営業利益の増減解析

(億円)

	1Q 公表時	2Q 公表時	差異
<b>19年度実績</b>	<b>477</b>	<b>477</b>	<b>—</b>
操業度	△379	△224	+156
構成差	△158	△114	+42
合理化吸収	60	74	+14
諸経費	73	104	+31
為替	10	11	+1
その他	46	32	△14
<b>20年度予想</b>	<b>130</b>	<b>360</b>	<b>+230</b>

・需要回復及び  
雇用維持に伴う  
労務費負担減

### 収益確保策

・減産状況での  
改善強化による  
生産性向上

・諸経費の  
更なる効率化

# スクリプト

- ◆次に、第1四半期に公表いたしました、営業利益130億円と、今回の見通し360億円の差異についてご説明させていただきます。
- ◆特に、日本やアセアン各国において、想定以上に需要が回復しており、このような急激な需要変動に対しても、ロスなく確実に対応することで、増産効果を最大限取り込めるものと考えております。
- ◆また、減産状況下で生まれたリソースや時間を、人材育成を含めた生産現場での改善活動に充当し、集中的に活動を進めたことによる生産性向上、働き方の見直しによる労働時間短縮・経費低減など、諸経費の更なる効率化などの収益確保策も、増益に寄与するものを見込んでおります。

## 2-4) 2020年度通期 業績予想 (上・下別)

### 売上収益

(億円)

	2020年度		
	上期	下期	通期
日本	3,042	3,808	6,850
北中南米	989	1,561	2,550
アジア・オセアニア	1,449	1,551	3,000
欧州・アフリカ	319	481	800
連結全体	5,454	6,946	12,400

### 営業利益

(億円)

	2020年度					
	上期		下期		通期	
日本	△68	△2.3%	79	2.1%	10	0.1%
北中南米	△28	△2.9%	64	4.1%	35	1.4%
アジア・オセアニア	138	9.6%	141	9.1%	280	9.3%
欧州・アフリカ	△5	△1.7%	40	8.4%	35	4.4%
連結全体	36	0.7%	324	4.7%	360	2.9%

# スクリプト

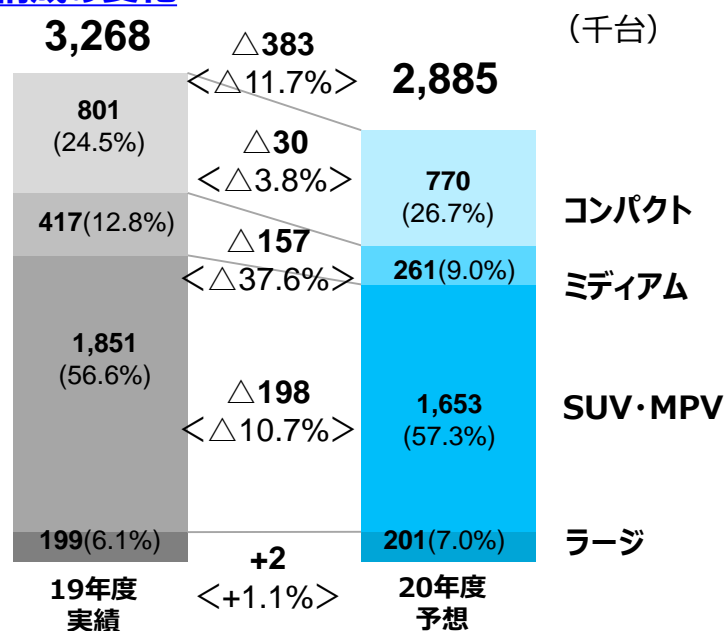
- ◆なお、上・下別の売上収益・営業利益につきましてはご覧いただいた通りです。

## 2-5) 2020年度通期 業績予想 地域別 売上収益・営業利益

### 日本

合理化や諸経費の効率化などの収益確保策を実施するものの、新型コロナウイルス影響による減産影響などにより減益の見通し

#### 台数・車種構成の変化



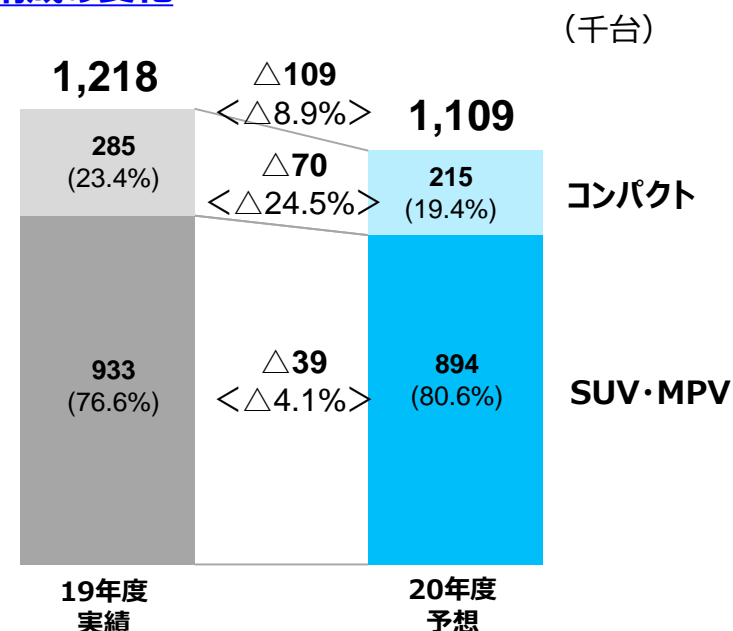
#### 当期の経営成績

	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	7,683	6,850	△833
営業利益	102	10	△92
営業利益率	1.3%	0.1%	—

### 北中南米

新型コロナウイルスによる減産影響はあるものの、諸経費の効率化やモデルチェンジに伴う一時的な不効率の解消などにより増益の見通し

#### 台数・車種構成の変化



#### 当期の経営成績

	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	2,729	2,550	△179
営業利益	8	35	27
営業利益率	0.3%	1.4%	—

# スクリプト

- ◆次に、地域別の業績予想をご説明いたします。まず、日本ですが、台数は、前期比マイナス38万台の、289万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比833億円減少の6,850億円。
- ◆営業利益は、  
合理化や諸経費の効率化などの収益確保策を実施するものの、  
新型コロナウイルスによる減産影響などにより、  
前期比92億円減少の10億円となる見込みです。
  
- ◆次に、北中南米ですが、  
台数は、前期比マイナス11万台の111万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比179億円減少の2,550億円。
- ◆営業利益は、新型コロナウイルスによる減産影響はありますが、  
諸経費の効率化やモデルチェンジに伴う一時的な不効率の解消などにより、  
前期比27億円増加の、35億円となる見込みです。

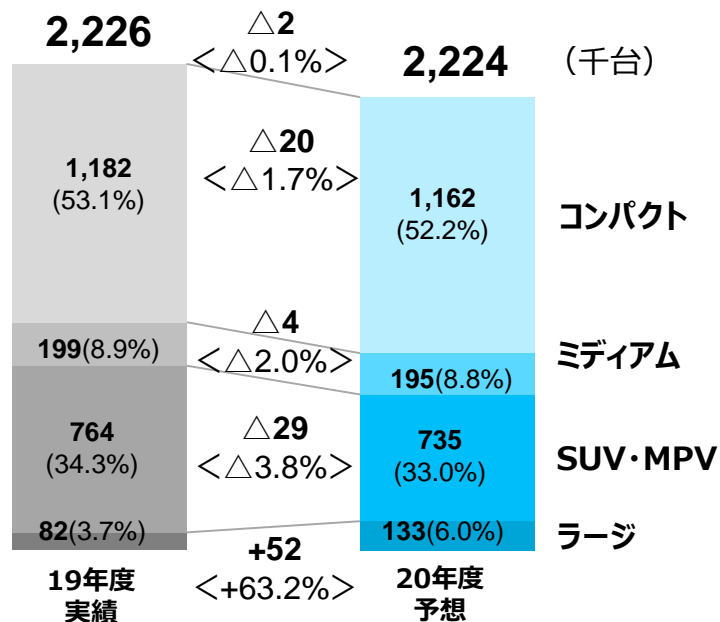


## 2-5) 2020年度通期 業績予想 地域別 売上収益・営業利益

### アジア・オセアニア

中国での増産効果などはあるが、アセアン各国での新型コロナウイルスによる減産影響などにより減益の見通し

#### 台数・車種構成の変化



#### 当期の経営成績

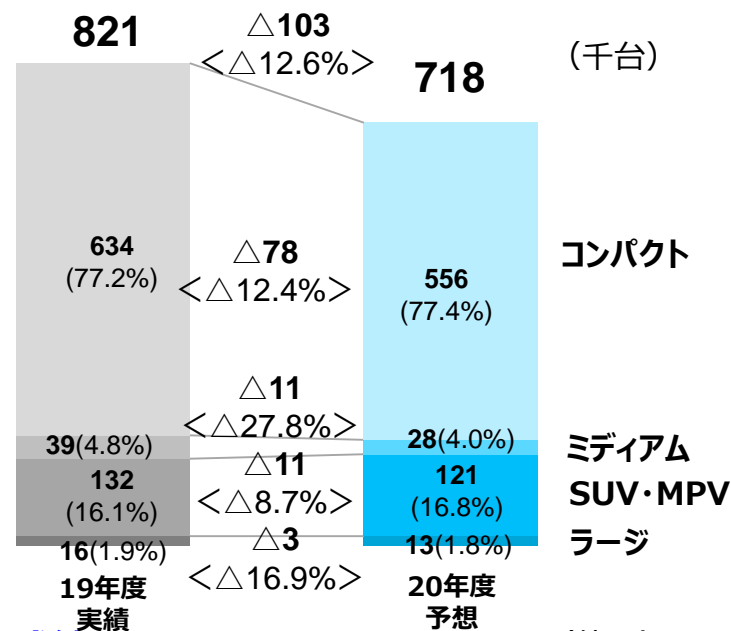
(億円)

	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	3,338	3,000	△338
営業利益	336	280	△56
営業利益率	10.1%	9.3%	—

### 欧州・アフリカ

新型コロナウイルスによる減産影響はあるが、前期に資金流出事案に伴う損失があったことなどから、営業利益は前期並みとなる見通し

#### 台数・車種構成の変化



#### 当期の経営成績

(億円)

	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	883	800	△83
営業利益	30	35	5
営業利益率	3.4%	4.4%	—

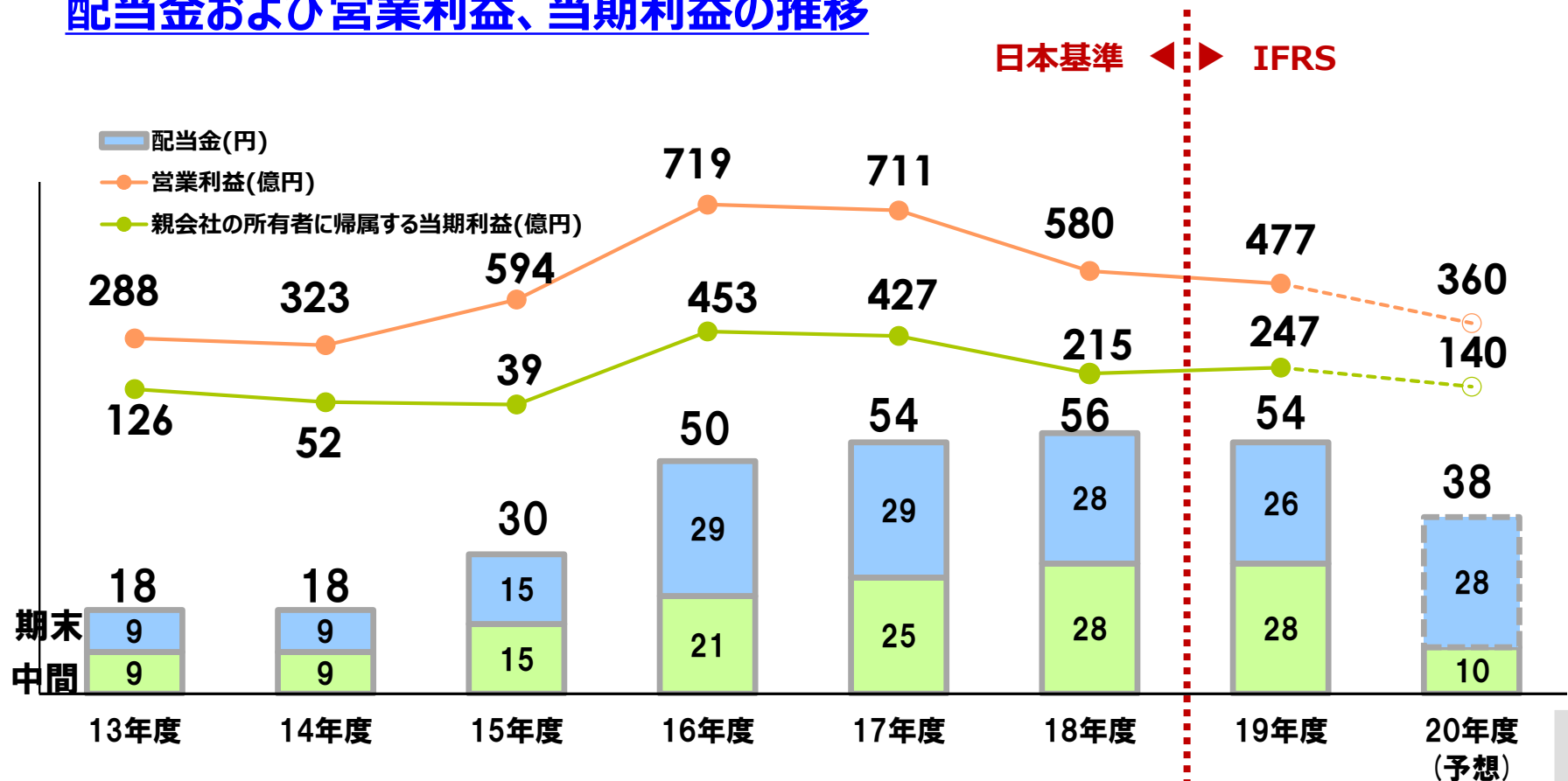
# スクリプト

- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
- ◆台数は、中国での増産はあるものの、主にアセアン各国での減産により、ほぼ前期並みとなる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比338億円減少の、3,000億円。
- ◆営業利益は、中国での増産影響はありますが、アセアン各国での新型コロナウイルスによる減産影響などにより前期比56億円減少の、280億円となる見込みです。
  
- ◆次に、欧州・アフリカですが、
- ◆台数は、前期比マイナス10万台の72万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比83億円減少の800億円。
- ◆営業利益は、新型コロナウイルスによる減産影響はあるものの、前期に資金流出事案に伴う損失があったことなどから、ほぼ前期並みの35億円となる見込みです。

## 2-6) 2020年度 通期予想 株主還元

- 中間は、経営と雇用の安定化などを総合的に判断し10円を予定
- 期末は、需要回復に伴う収益向上を見込んでいることから、長期安定的な配当を継続（28円を予定）

### 配当金および営業利益、当期利益の推移



# スクリプト

- ◆次に、配当金でございますが、
- ◆中間は、当第2四半期の連結業績や、コロナ影響下における、経営と雇用の安定化などを総合的に検討した結果、10円といたしました。
- ◆また、期末につきましては、需要回復に伴う収益向上を見込んでいることや、長期安定的な配当継続の観点などから、28円とさせていただく予定です。

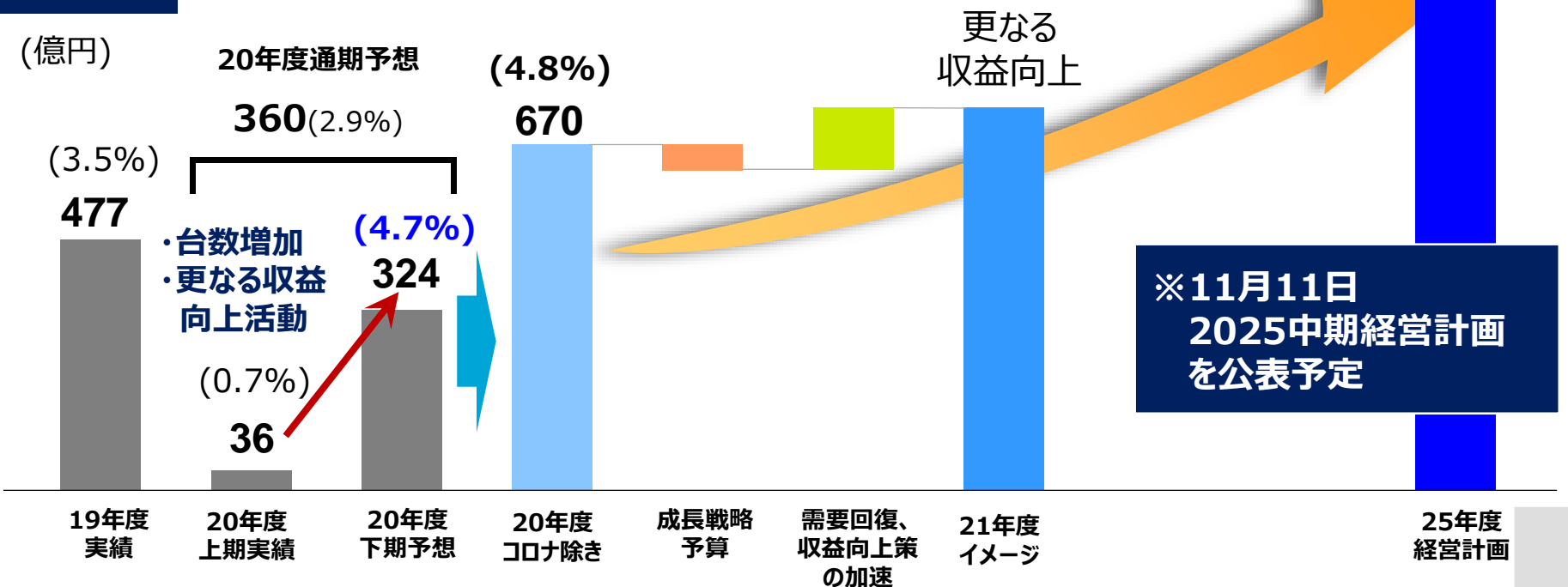
## 2-7) 20年度第2四半期決算総括

【上期実績】 諸経費の効率化や合理化など**収益確保策を実施し黒字を確保**

【通期予想】 **台数の回復に加え、収益向上策の加速**（やめる・減らす・変える活動、リモート業務対応など）により**更に収益力を向上**

【21年度】 **2025経営計画目標※**に向けた成長戦略予算を確保しつつ**更なる収益向上を目指す**

### 営業利益



# スクリプト

- ◆最後に、当第2四半期決算を総括させていただきます。
- ◆当年下期におきましては、需要が回復することに加え、全社を挙げた収益向上策を更に加速させ、収益向上を図ってまいります。その結果、新型コロナウイルス影響を除いた通期の営業利益は670億円を想定するなど、足許の収益力は確実に向上していると考えております。
- ◆来期以降は、将来に向けた成長戦略予算を確保する一方で、当期の減産状況下で構築した、新しい働き方や、リーンな生産体制を基盤に、更なる収益向上策の加速を図り、持続可能な成長を目指してまいります。
- ◆なお、2025年に向けた新たな中期経営計画を、11月11日に公表させていただく予定です。
- ◆以上をもちまして、2020年度第2四半期の決算説明を終了させていただきます。ありがとうございました。



**<注意事項>**

**本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。**

**そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。**

# 目次

1. 2020年度第2四半期 決算状況

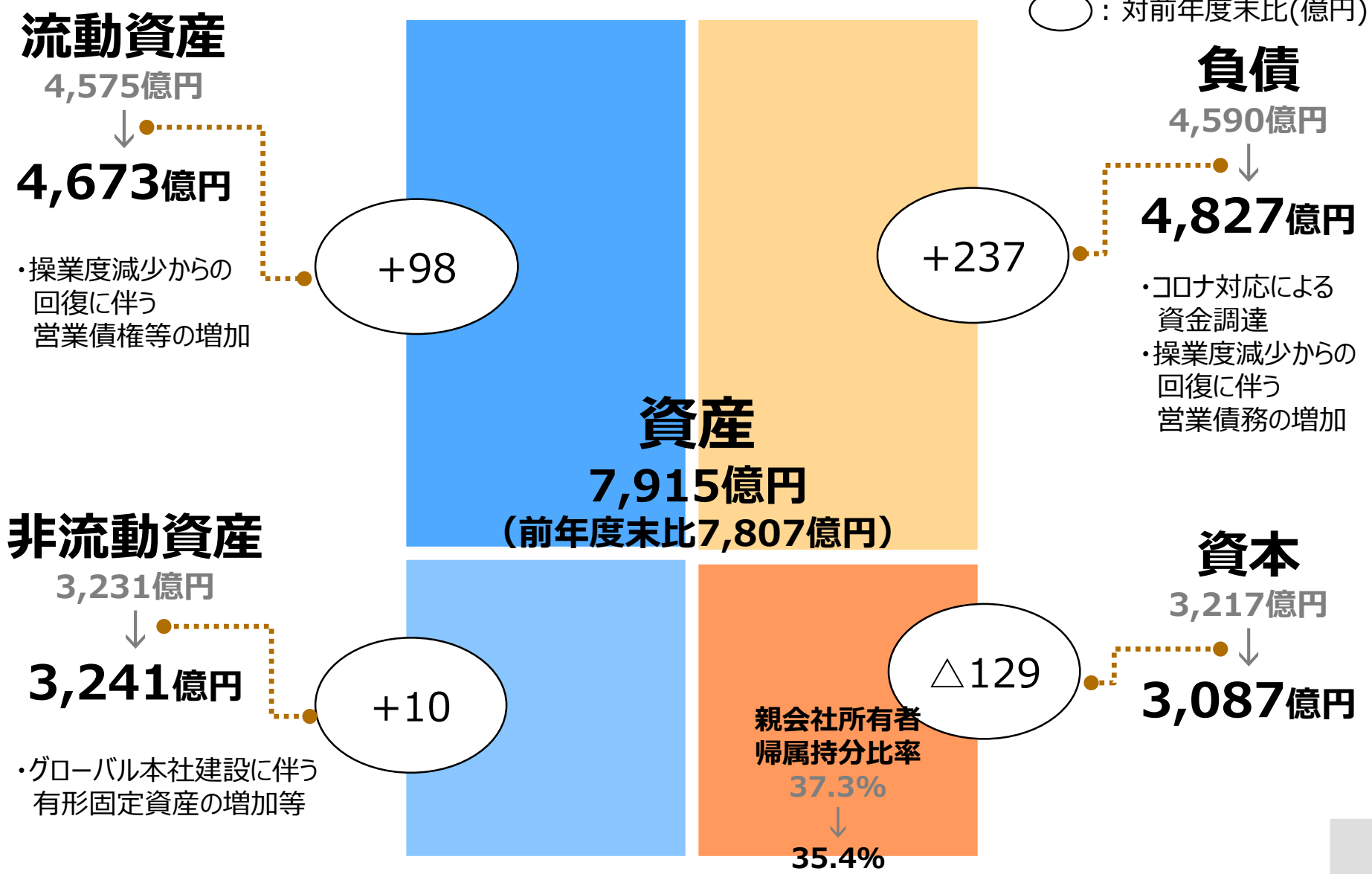
2. 2020年度通期 業績予想

**3. 参考情報**



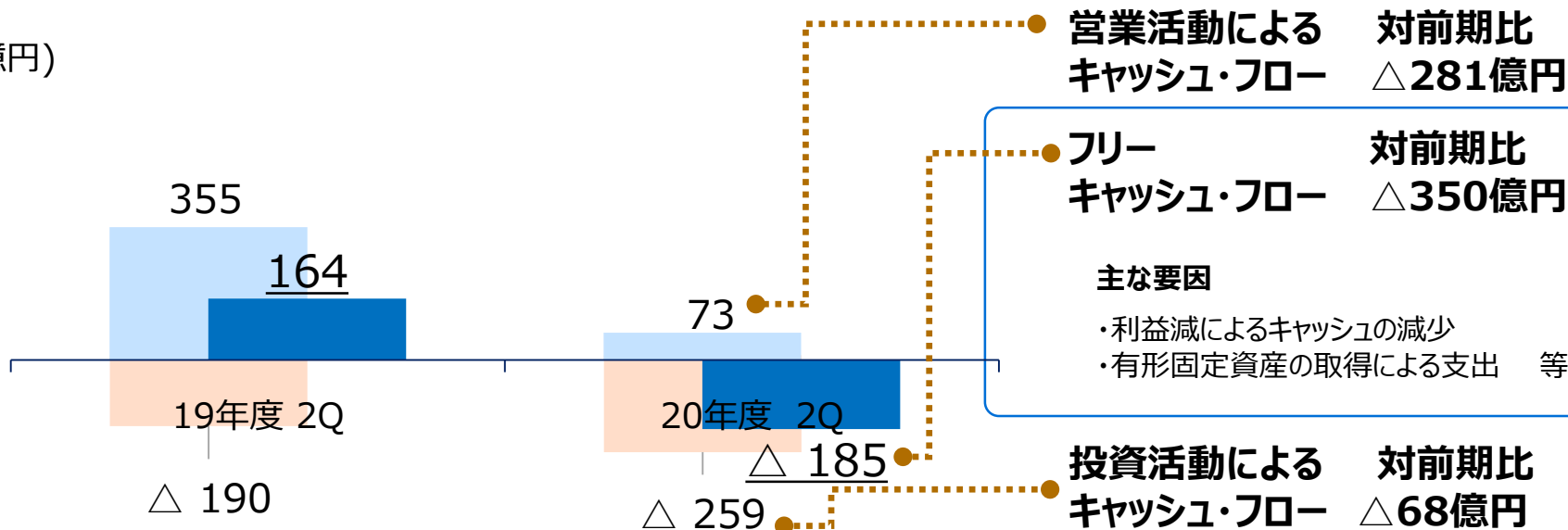
# 参考1) 連結財政状態計算書の状況(20/9末)

○ : 対前年度末比(億円)



## 参考2) 連結キャッシュフローの状況

(億円)

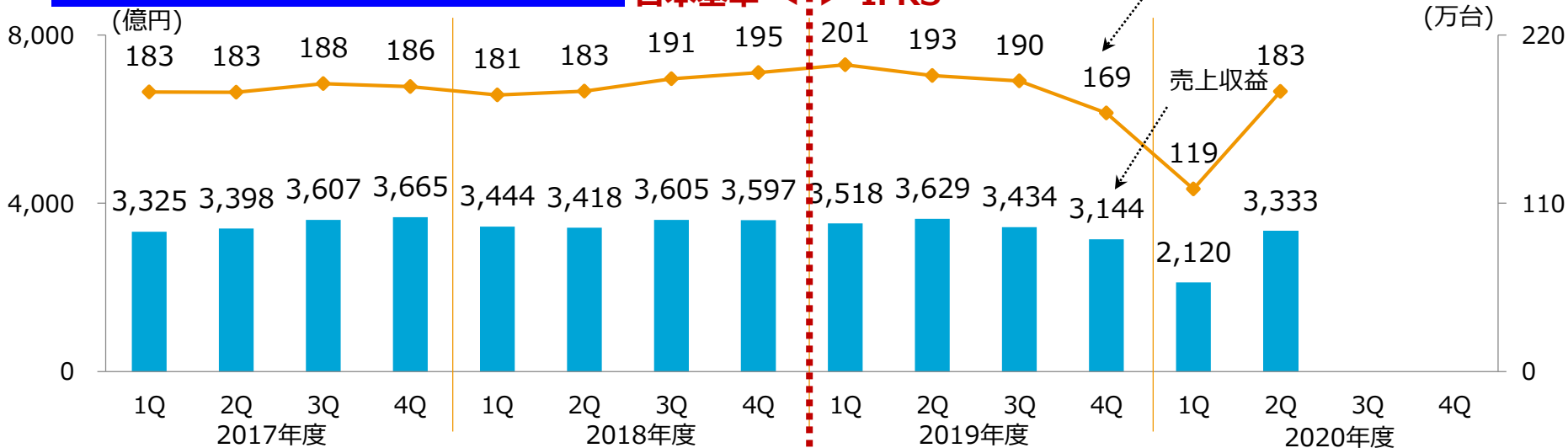


	(億円)			19年度期末
	19年度2Q	20年度2Q	増減	
営業活動によるキャッシュ・フロー	355	73	$\Delta$ 281	796
投資活動によるキャッシュ・フロー	$\Delta$ 190	$\Delta$ 259	$\Delta$ 68	$\Delta$ 541
フリーキャッシュ・フロー	164	$\Delta$ 185	$\Delta$ 350	254
財務活動によるキャッシュ・フロー	$\Delta$ 39	208	247	$\Delta$ 139
為替変動による影響額	$\Delta$ 46	2	49	$\Delta$ 63
現金及び現金同等物の増減額	78	24	$\Delta$ 53	51
現金及び現金同等物の残高	1,660	1,658	$\Delta$ 2	1,633

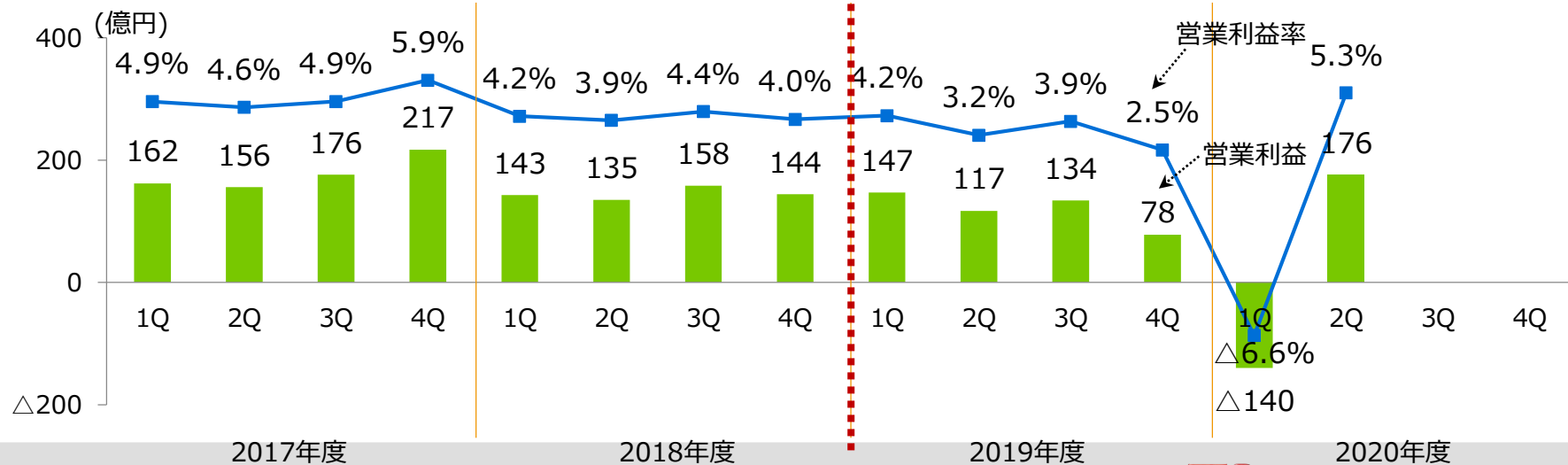
# 参考3) 四半期推移 連結 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益

日本基準 ◀ ▶ IFRS

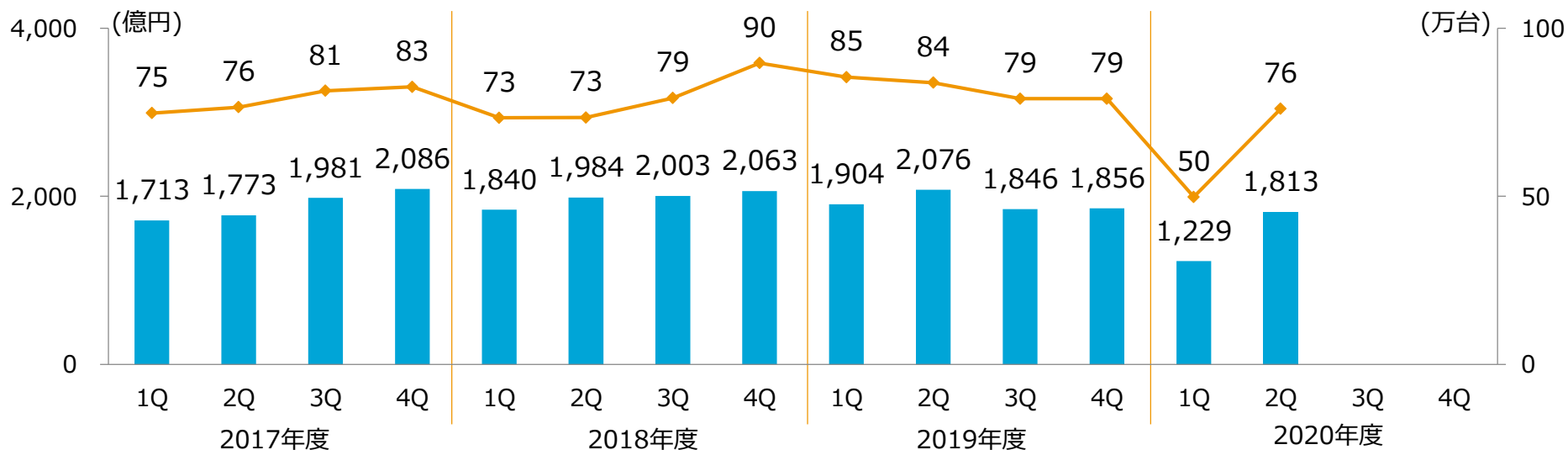


## 営業利益/営業利益率

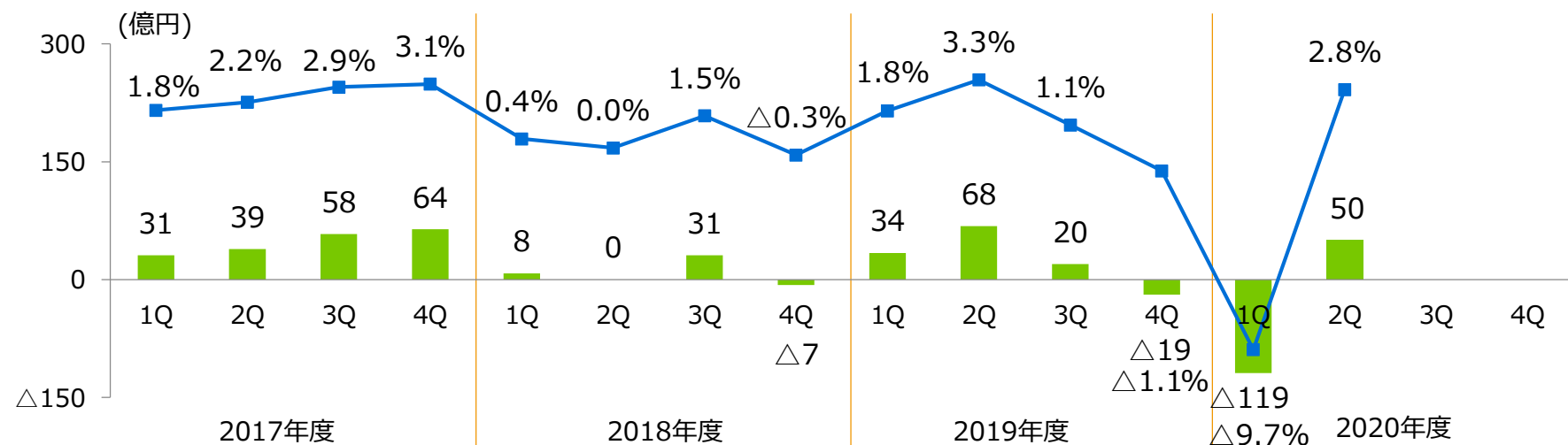


# 参考4) 四半期推移 日本 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益

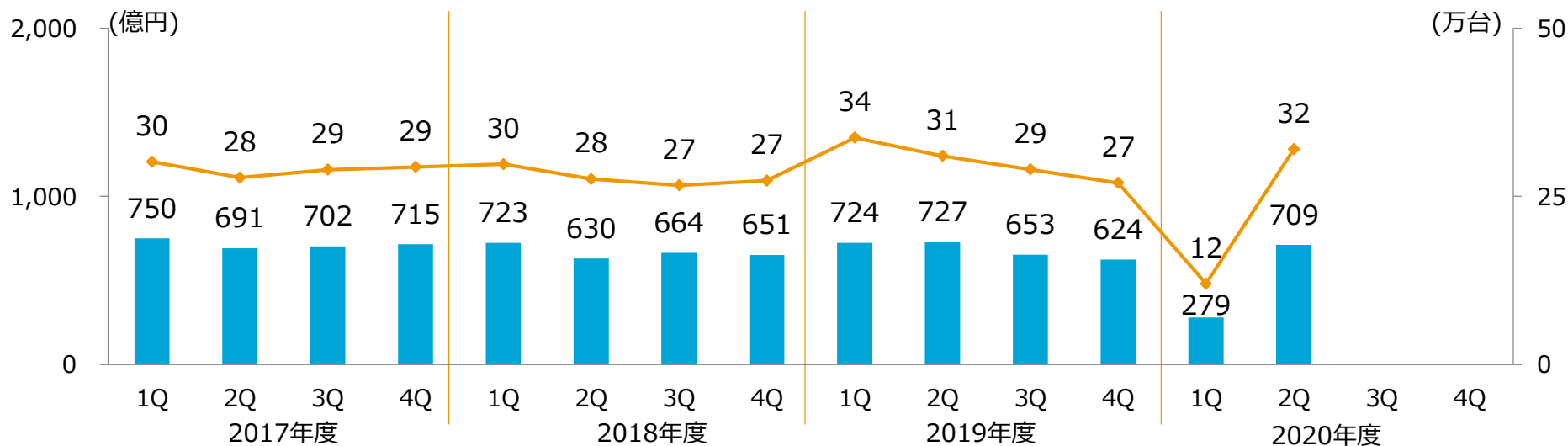


## 営業利益/営業利益率

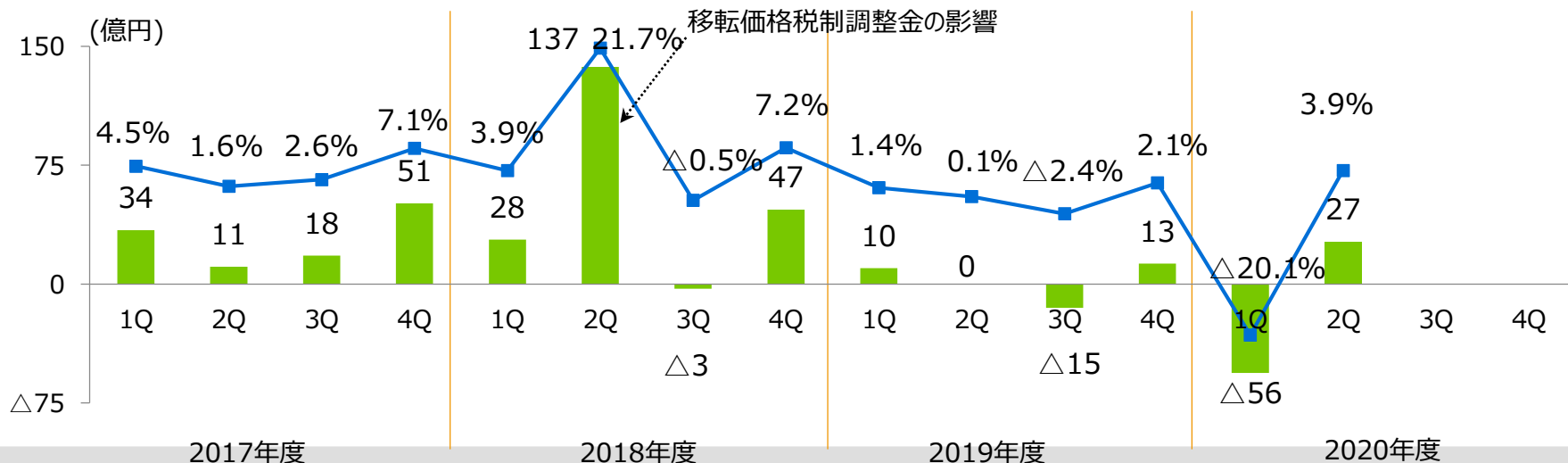


# 参考5) 四半期推移 北中南米 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益

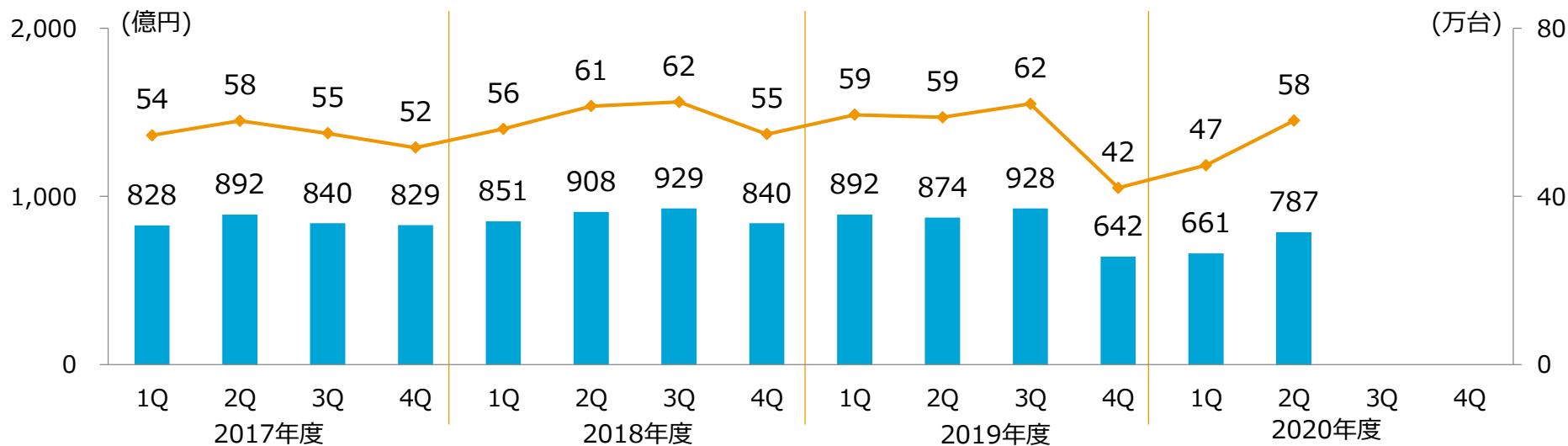


## 営業利益/営業利益率

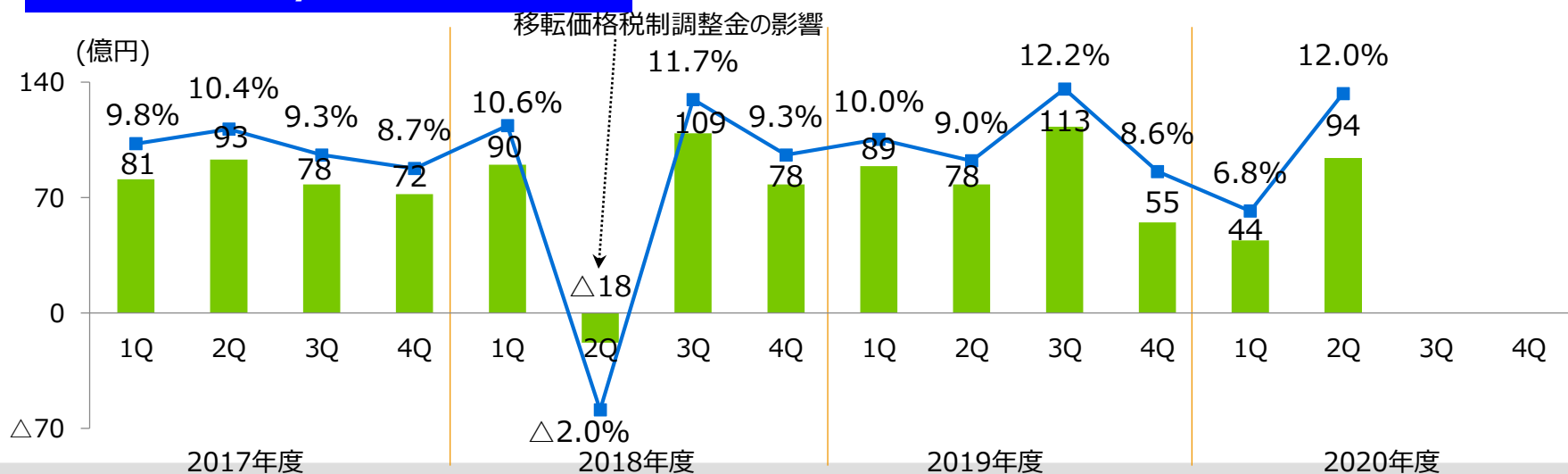


# 参考6) 四半期推移 アジア・北アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益

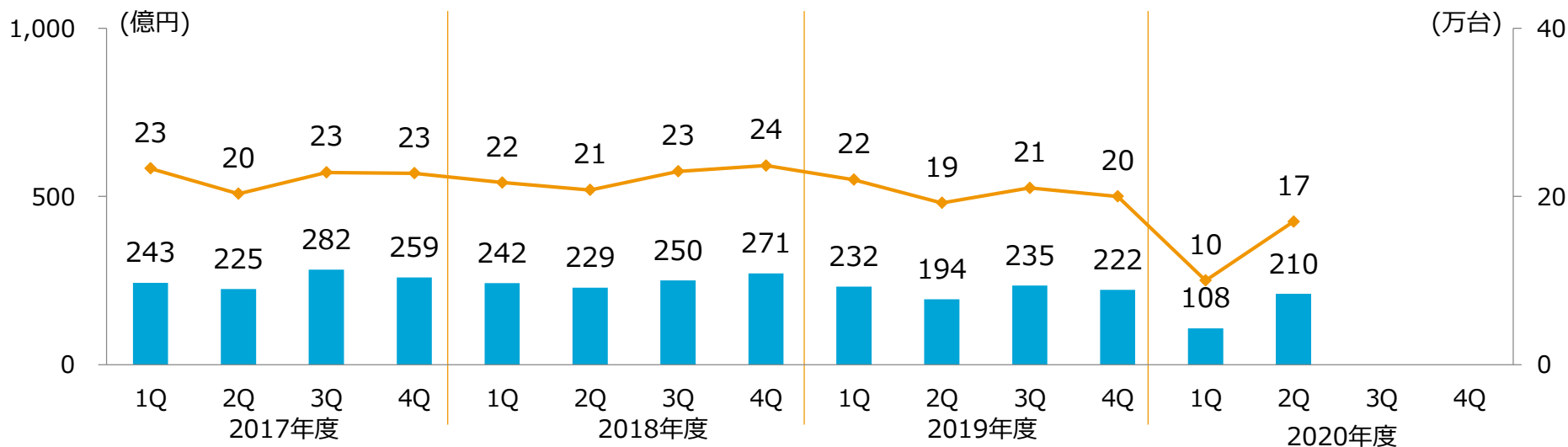


## 営業利益/営業利益率



# 参考7) 四半期推移 欧州・アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益



## 営業利益/営業利益率

